

「南幌町地球温暖化対策実行計画」進捗状況報告書
2014年（H26）度実績報告

2015年（H27）8月

南幌町地球温暖化対策推進委員会

平成26年度「南幌町地球温暖化対策実行計画」に向けた取組み状況（実績報告）について

2015年(H27)・8月

地球温暖化防止に関する国際的な取組みとして、気候変動に関する国際連合枠組条約があり、1997年(H9)12月に地球温暖化防止京都会議(COP3)が開催され、京都議定書が採択されました。この中で我が国については、温室効果ガスの総排出量を2008年(H20)から2012年(H24)までの間に1990年(H2)比で6%削減するとの目標が定められました。

このことから、町では、事務事業に伴い自ら排出する温室効果ガスの削減を図ることを目的とし2007年(H19)1月に「南幌町地球温暖化防止実行計画」を策定し、二酸化炭素(CO₂)の総排出量を2005年(H17)基準年度と比較し、2010年(H22)までに6%の削減率を目標値にし実施してきました。

実行計画では計画策定から4年後に見直しを行うこととしていたことから、第2次となる実行計画を「南幌町地球温暖化対策実行計画」とし2011年(H23)から2015年(H27)までの5カ年の計画として策定しました。第1次実行計画での温室効果ガス(CO₂)削減取組みの結果、2008年(H20)には、基準年度比7.4%、2009年(H21)には、6.5%削減することが出来、今後においても地域に先導的な役割を果たさなければならない南幌町役場として、なお一層の強化した地球温暖化対策の取組みを行う必要があるため、新たな温室効果ガス(CO₂)排出量の数値目標を第2次実行計画の最終年度である2015年(H27)までに2005年(H17)基準年度比11%削減することに設定しました。

また、小学校統合(3校が1校)により平成24年4月に第2次実行計画を改定しました。

1 平成26年度の実行計画における対象範囲（施設・公用車等）について

算定対象範囲は、職員が直接実施する町の事務事業すべてとしています。

指定管理制度などによる施設の運営管理にかかる温室効果ガス排出量を除外するとともに、単独取組みとする町立病院は、平成21年度報告より除外しています。

小学校統合に伴い平成24年度取組みより3校の小学校が南幌小学校1校(旧みどり野小学校)となり対象施設を変更しました。

【対象施設一覧】

分類	施設名
総務課	役場庁舎、夕張太ふれあい館
保健福祉課	保健福祉総合センター
都市整備課	総合保安センター、柳陽団地集会場
産業振興課	ふるさと物産館、農業農村整備事業推進本部
生涯学習課	南幌小学校(旧みどり野小学校)、南幌中学校
学校給食センター	学校給食センター
公民館	公民館、農村環境改善センター
スポーツセンター	スポーツセンター、町営プール
消防支署	消防支署
公用車	公用車（建設機械も含む）、※除雪機、草刈機は除く

※ 中央公園管理棟、リバーサイド遊友館、ふきの塔は、平成19年度より三重レークハウス、町立病院は、平成21年度から除外しております。

※ 対象施設：15施設

※ 対象公用車：46台（ガソリン：28・軽油18）

2 温室効果ガス二酸化炭素(CO2)総排出量の算定について

指定管理制度等による対象事務事業の変更及び平成23年3月に第2次となる実行計画策定により排出係数の変更を行い基準年2005年(H17)、目標値2015年(H27)の温室効果ガス(二酸化炭素(CO2))総排出量及び平成18年よりの実績数値を次の通り再計算しています。

また、平成24年度より小学校が統廃合され3校が1校となったため、旧南幌小学校及び夕張太小学校を除外し旧みどり野小学校を南幌小学校として温室効果ガス(二酸化炭素(CO2))総排出量等を変更しました。(第2次実行計画H24.4改定)

【二酸化炭素(CO2)排出係数】

ガソリン	軽油	灯油	A重油	LPガス	電気
2.32kg-CO2/ℓ	2.59kg-CO2/ℓ	2.49kg-CO2/ℓ	2.71kg-CO2/ℓ	3.00kg-CO2/kg	0.433kg-CO2/kwh

【温室効果ガスの削減数値目標】

区 分	基準年度総排出量 2005年(H17)	削減率目標	目標年度総排出量 2015年(H27)
二酸化炭素(CO2)	1,965,688 kg-CO2	11%	1,749,460 kg-CO2
H24.4 実行計画改定前	2,263,146 kg-CO2		2,014,200 kg-CO2

【温室効果ガスの実績数値】(第1次実行計画期間)

年 度	CO2 総排出量	削減率
2006年(H18)	1,836,007 kg-CO2	6.6%
2007年(H19)	1,952,205 kg-CO2	0.7%
2008年(H20)	1,820,509 kg-CO2	7.4%
2009年(H21)	1,838,758 kg-CO2	6.5%
2010年(H22)	1,873,467 kg-CO2	4.7%

【温室効果ガスの実績数値】(第2次実行計画期間)

年 度	CO2 総排出量	削減率
2011年(H23)	1,907,428 kg-CO2	3.0%
2012年(H24)	1,939,842 kg-CO2	1.4%
2013年(H25)	1,889,053 kg-CO2	3.9%

3 平成26年度南幌町の温室効果ガス二酸化炭素(CO2)の総排出量について

2014年(H26)度の町の事務事業に伴い排出された温室効果ガス(二酸化炭素(CO2))の総排出量実績は、1,752.4t-CO2となり、基準年(H17)の総排出量と比較して、213.3t-CO2の減、排出削減率の比較で10.9%の削減となりました。

2013年(H25)度比では、総排出量136.6t-CO2減、7.3%の減となりました。

	基準年度2005年(H17)	実績年度2014年(H26)	比較	削減率
CO2 総排出量	1,965,688 kg-CO2	1,752,425 kg-CO2	△213,263 kg-CO2	10.9%

【基準年 2005 年(H17)と実績年 2014 年(H26)の比較】

項 目	基準年【H17】		実 績【H26】		増 減		
	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	使用量	CO2 排出量 Kg-CO2	削減率% H17 比較
ガソリン	20,907 リットル	48,504	16,752 リットル	38,865	△4,155 リットル	△9,639	△19.9
軽 油	60,305 リットル	156,190	51,200 リットル	132,608	△9,105 リットル	△23,582	△15.1
灯 油	46,917 リットル	116,823	36,200 リットル	90,138	△10,717 リットル	△26,685	△22.9
A重油	397,800 リットル	1,078,038	366,000 リットル	991,860	△31,800 リットル	△86,178	△8.0
LPガス	4,776 kg	14,328	5,108 kg	15,324	+332 kg	+996	+6.9
電 気	1,274,376kwh	551,805	1,116,928kwh	483,630	△157,448kwh	△68,175	△12.4
合 計		1,965,688		1,752,425		△213,263	△10.9

4 南幌町の事務事業により排出された施設等別排出量について

2014 年(H26)度における町の事務事業により排出された施設等別温室効果ガス(CO2)排出量は下記施設・公用車別の排出量内訳のとおりです。排出割合の大きい順は、保健福祉総合センター、南幌小学校(旧みどり野小学校)、南幌中学校、スポーツセンター、学校給食センターとなっています。

保健福祉総合センターの温室効果ガス(CO2)排出量は 288.7t-CO2、総排出量の 16.5%を占め、基準年(H17)比 59.9t-CO2 減、17.2%の減となりました。

H26 年度、削減率が一番大きい施設、公民館・改善センターの温室効果ガス(CO2)排出量は、92.9 t-CO2、総排出量の 5.3%、基準年(H17)比 81.8 t-CO2、46.9%の削減となっており、削減要因は、H22 の暖房設備の入れ替え及び基準年度に比べ冬期間の気温が高かったことや、H27 年の 1 月末に公民館を閉館したことにより施設利用時間が減少したため、A重油に係る排出量が 62.0%の削減となっています。

公用車使用で発生する温室効果ガス(CO2)排出量は全体で 171.5t-CO2、基準年(H17)比 33.2 t-CO2、16.3%減となりました。

普通公用車での温室効果ガス(CO2)排出量は 51.0 t-CO2、基準年(H17)比 24.9%の削減となりました。また、降雪量が平成 9 年以来最少となり、除雪に係る排出量が減少したため建設機械の道路維持関連車両での温室効果ガス(CO2)排出量についても 76.9 t-CO2、基準年(H17)比 12.4 t-CO2、13.9%の削減となりました。

H26 年度は冬期間の気温が基準年度より高かったことや、各職員の削減に向けた取組みにより、ガソリン、灯油、A重油、電気の使用量が第 1 次実行計画策定以降最も少なくなりました。

【施設・公用車別の排出量】

	基準年【H17】	実 績【H26】	増 減 量	増減率
施 設合計	1,760,994 kg-CO2	1,580,952 kg-CO2	△180,042 kg-CO2	△10.3%
公用車合計	204,694 kg-CO2	171,473 kg-CO2	△33,221 kg-CO2	△16.3%
総 計	1,965,688 kg-CO2	1,752,425 kg-CO2	△213,263 kg-CO2	△10.9%

【施設・公用車別の排出量内訳】

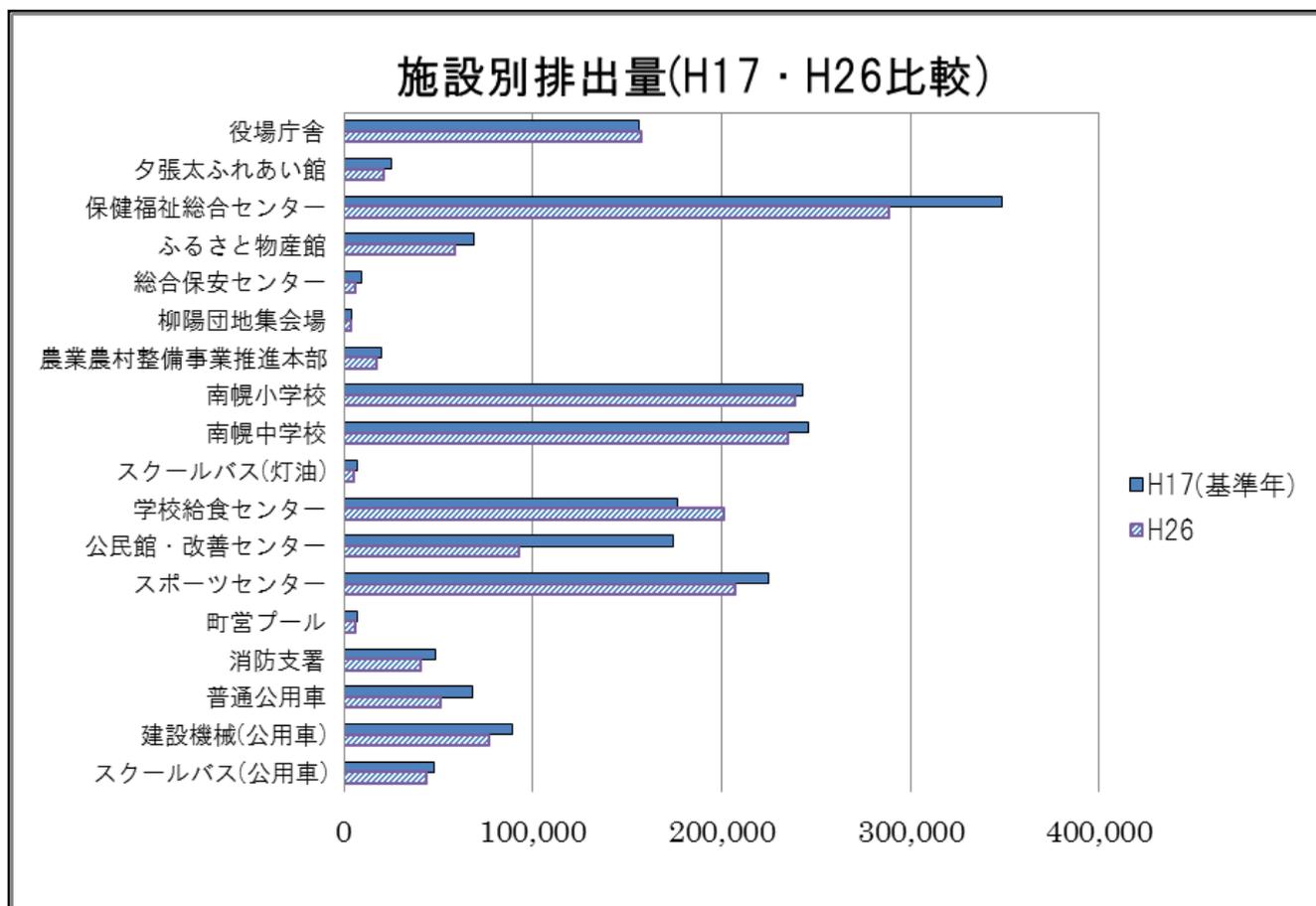
(単位：Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H26	増減量	増減率	構成比
役場庁舎	156,371	157,884	+1,513	+0.9%	9.0%
夕張太ふれあい館	25,305	21,324	△3,981	△15.8%	1.2%
保健福祉総合センター	348,549	288,668	△59,881	△17.2%	16.5%
ふるさと物産館	69,239	58,570	△10,669	△15.5%	3.3%
総合保安センター	9,010	6,308	△2,702	△30.0%	0.4%
柳陽団地集会場	3,896	3,562	△334	△8.6%	0.2%
農業農村整備事業推進本部	19,626	17,576	△2,050	△10.5%	1.0%
南幌小学校	243,201	238,640	△4,561	△1.9%	13.6%
南幌中学校	246,304	235,304	△11,000	△4.5%	13.4%
スクールバス(灯油)	7,395	4,970	△2,425	△32.8%	0.3%
学校給食センター	176,374	200,986	+24,612	+13.9%	11.5%
公民館・改善センター	174,707	92,894	△81,813	△46.9%	5.3%
スポーツセンター	225,160	207,489	△17,671	△7.9%	11.8%
町営プール	7,143	6,165	△978	△13.7%	0.4%
消防支署	48,714	40,612	△8,102	△16.7%	2.3%
普通公用車	67,906	51,033	△16,873	△24.9%	2.9%
建設機械(公用車)	89,277	76,894	△12,383	△13.9%	4.4%
スクールバス(公用車)	47,511	43,546	△3,965	△8.4%	2.5%
総排出量	1,965,688	1,752,425	△213,263	△10.9%	100%

※ 15 施設・スクールバス(4 台のうち 2 台灯油使用)

※ 46 台公用車(普通公用車 33 台・建設機械等 9 台・スクールバス 4 台)

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。



5 各項目別の排出量について

各項目別での町の事務事業により排出された温室効果ガス(CO2)排出量の割合はA重油使用による温室効果ガス(CO2)排出量は991.9t-CO2で総排出量の56.6%を占め、電気使用による排出量は483.6t-CO2、総排出量の27.6%、軽油使用排出量132.6t-CO2、7.6%となり灯油使用による排出量が90.1t-CO2、総排出量の5.1%、ガソリン使用排出量38.9t-CO2、2.2%、LPガス使用排出量15.3t-CO2、0.9%の順になっています。

(A重油→電気→軽油→灯油→ガソリン→LPガス)

1) A重油使用による排出

A重油は主に、施設の暖房等に利用しています。A重油の使用による温室効果ガス(CO2)排出量の合計は991.9t-CO2で基準年(H17)比86.2t-CO2、8.0%減少しています。

A重油の使用については、冬期間の気象状況(気温)に大きく左右されますが、今回最も削減率が高い施設は公民館・改善センターで基準年(H17)比70.5t-CO2、62.0%の削減となりました。削減の主な要因は、H22の暖房設備の入れ替え及び基準年度に比べ冬期間の気温が高かったことや、H27年の1月末に公民館を閉館したことにより施設利用時間が減少したためです。

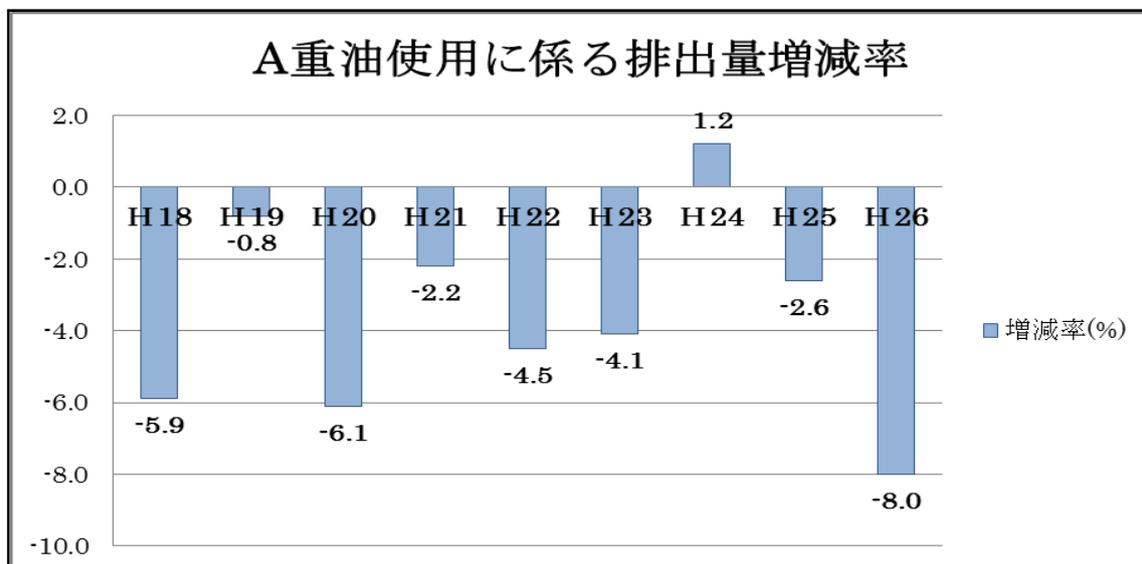
また、最も増加率が高い施設は役場庁舎で基準年(H17)比75.9t-CO2、16.6%の増となりました。増加の主な要因は、選挙等による開庁時間の増加に伴う暖房使用時間の増によるものです。

【A重油使用による施設の排出量内訳】

(単位：Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H26	増減量	増減率	実績H25	増減率
役場庁舎	65,040	75,880	+10,840	+16.6%	70,460	+8.3%
保健福祉総合センター	238,480	205,960	△32,520	△13.7%	227,640	△4.6%
ふるさと物産館	32,520	29,810	△2,710	△8.4%	29,810	△8.4%
南幌小学校	184,280	178,860	△5,420	△3.0%	184,280	+0.0%
南幌中学校	135,500	140,920	+5,420	+4.0%	151,760	+12.0%
学校給食センター	126,828	146,340	+19,512	+15.3%	138,210	+8.9%
公民館、改善センター	113,820	43,360	△70,460	△62.0%	70,460	△38.1%
スポーツセンター	151,760	143,630	△8,130	△5.4%	146,340	△3.6%
消防支署	29,810	27,100	△2,710	△9.1%	31,165	+4.5%
排出量合計	1,078,038	991,860	△86,178	△8.0%	1,050,125	△2.6%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。



2) 灯油使用による排出

灯油使用による温室効果ガス（CO2）排出量の合計は 90.1t-CO2 で基準年(H17)比 26.7t-CO2、22.9%の削減となりました。灯油を主暖房としている施設は、夕張太ふれあい館・総合保安センター・柳陽団地集会場・スクールバスとなっています。中学校では、体育館のみの暖房として灯油を使用し、他の施設は、補助暖房として使用しています。全施設の中で最も削減率が大きかったスポーツセンターでは基準年(H17)比 2.6t-CO2、79.9%の削減となりました。削減の主な要因としては適温管理の徹底や基準年度に比べ冬期間の気温が高かったことによるもので、同様の理由によりほとんどの施設において灯油の使用量が基準年度に比べ大幅に削減されました。

暖房により排出されるA重油・灯油使用での温室効果ガス（CO2）を合算し基準年(H17)と比較すると 112.9 t-CO2、9.5%の削減となります。

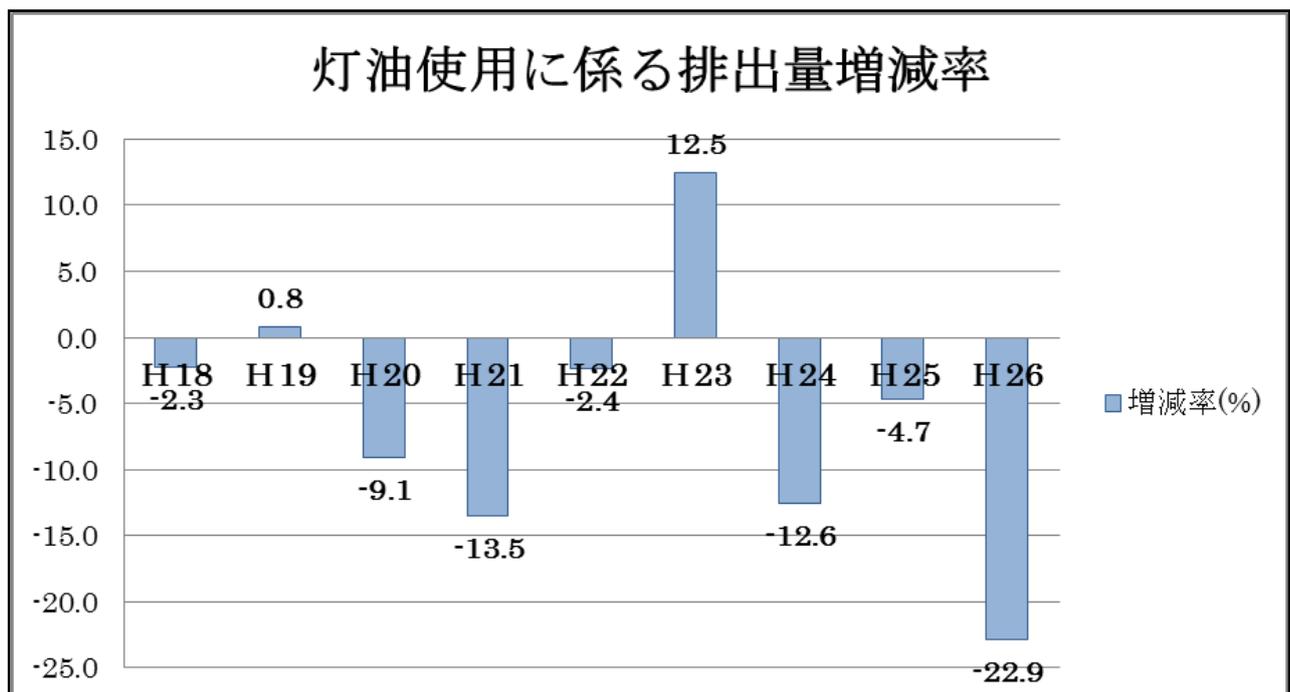
【灯油使用による施設及び公用車の排出量内訳】

(単位：Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H26	増減量	増減率	実績H25	増減率
役場庁舎	2,764	2,841	+77	+2.7%	2,873	+3.9%
夕張太ふれあい館	18,150	15,687	△2,463	△13.6%	16,629	△8.4%
保健福祉総合センター	0	75	+75		473	
総合保安センター	6,623	5,050	△1,573	△23.8%	6,999	+5.6%
柳陽団地集会場	1,586	896	△690	△43.6%	1,531	△3.5%
農業農村整備事業推進本部	9,059	4,265	△4,794	△53.0%	7,799	△14.0%
南幌小学校	570	130	△440	△77.2%	134	△76.5%
南幌中学校	66,040	54,581	△11,459	△17.4%	67,106	+1.6%
スクールバス	7,395	4,970	△2,425	△32.8%	6,013	△18.7%
公民館、改善センター	92	50	△42	△45.7%	45	△51.1%
スポーツセンター	3,262	657	△2,605	△79.9%	623	△81.0%
町営プール	946	797	△149	△15.8%	1,125	+18.9%
消防支署	336	139	△197	△58.7%	0	△100.0%
排出量合計	116,823	90,138	△26,685	△22.9%	111,350	△4.7%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

※ 灯油を主暖房としている施設 4



3) L P ガス使用による排出

L P ガス使用による温室効果ガス (CO2) 排出量の合計は 15.3 t-CO2 で基準年(H17)比 1.0 t-CO2、6.9%増加しました。

増加要因は、農業農村整備事業推進本部が H25 年の 8 月に灯油式暖房機から L P ガス式冷暖房機に変更したことによるもので、農業農村整備事業推進本部だけで 4.6 t-CO2、1,392.7%増加しました。しかし、農業農村整備事業推進本部の灯油と L P ガスでの排出量を合算すると基準年(H17)比 0.2 t-CO2、2.1%の削減となります。

また、皆様のご協力により上記施設以外のほとんどの施設において L P ガスの使用量が大幅に削減されており、農業農村整備事業推進本部以外の施設の排出量の合計を基準年(H17)と比較すると 25.7%の削減となりました。

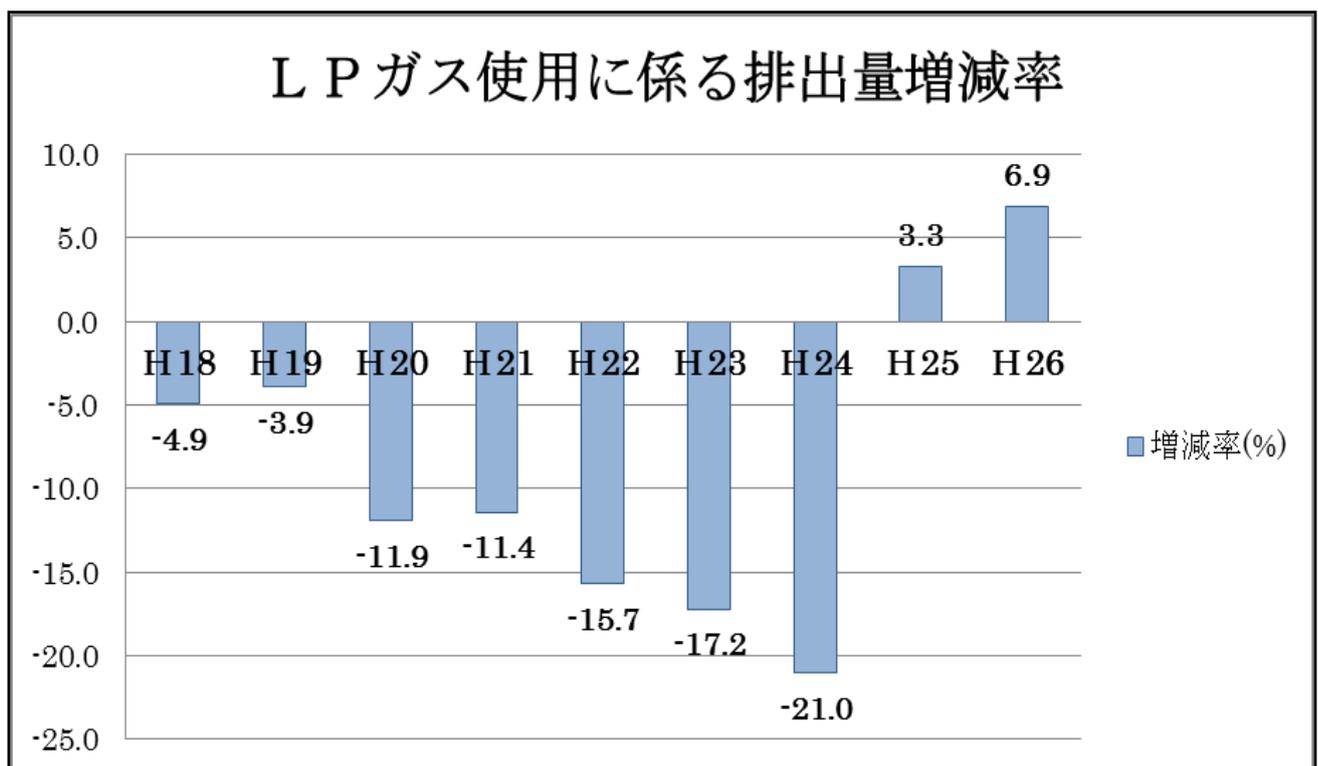
なお、今回最も削減量が多い施設は学校給食センターで基準年(H17)比 1.3 t-CO2、21.4%の削減となりました。削減の主な要因は、生徒数減少による給食数の減少及び、L P ガスを使用する蒸し器やオーブン等の使用回数の減少となります。

【L P ガス使用による施設の排出量内訳】

(単位：Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H26	増減量	増減率	実績H25	増減率
役場庁舎	1,176	744	△432	△36.8%	876	△25.6%
総合保安センター	12	18	+6	+50.0%	18	+50.0%
ふるさと物産館	4,086	3,558	△528	△13.0%	3,582	△12.4%
農業農村整備事業推進本部	330	4,926	+4,596	+1,392.7%	3,882	+1,076.3%
南幌小学校	108	24	△84	△77.8%	30	△72.3%
南幌中学校	144	30	△114	△79.2%	18	△87.5%
学校給食センター	6,168	4,854	△1,314	△21.4%	5,160	△16.4%
公民館、改善センター	840	120	△720	△85.8%	174	△79.3%
消防支署	1,464	1,050	△414	△28.3%	1,068	△27.1%
排出量合計	14,328	15,324	+996	+6.9%	14,808	+3.3%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。



4) 電気使用による排出

電気使用による温室効果ガス(CO2)排出量の合計は 483.6 t-CO2 で基準年(H17)比 68.2t-CO2、12.4%削減しました。

今回最も削減率が大きかった施設は総合保安センターで基準年(H17)比 1.1t-CO2、47.8%の減であり、削減の主な要因は、除雪出動回数の減による総合保安センター使用時間の減です。その次に削減率が大きかった消防支署は、蛍光灯数の削減や節電の徹底等の取組みにより年々使用量を削減しており、基準年(H17)比 4.8 t-CO2、28.0%減と、過去最大の削減率であったH25 をさらに上回る削減となりました。

また、今回最も削減量が大きかった施設は、保健福祉総合センターで基準年(H17)比 27.4 t-CO2、25.0%減となりました。削減の主な要因は、冷暖房機器の使用時間を減らしたことによるものです。

【電気使用による施設の排出量内訳】

(単位：Kg-CO2)

施設	基準年H17	実績H26	増減量	増減率	実績H25	増減率
役場庁舎	87,391	78,419	△8,972	△10.3%	83,958	△4.0%
夕張太ふれあい館	7,155	5,637	△1,518	△21.3%	5,565	△22.3%
保健福祉総合センター	110,069	82,633	△27,436	△25.0%	91,679	△16.8%
総合保安センター	2,375	1,240	△1,135	△47.8%	1,602	△32.6%
柳陽団地集会場	2,310	2,666	+356	+15.4%	2,648	+14.6%
ふるさと物産館	32,633	25,202	△7,431	△22.8%	24,703	△24.4%
農業農村整備事業推進本部	10,237	8,385	△1,852	△18.1%	9,393	△8.3%
南幌小学校	58,243	59,626	+1,383	+2.3%	62,401	+7.1%
南幌中学校	44,620	39,773	△4,847	△10.9%	43,980	△1.5%
学校給食センター	43,378	49,792	+6,414	+14.7%	47,953	+10.5%
公民館、改善センター	59,955	49,364	△10,591	△17.7%	56,305	△6.1%
スポーツセンター	70,138	63,202	△6,936	△9.9%	65,850	△6.2%
町営プール	6,197	5,368	△829	△13.4%	5,358	△13.6%
消防支署	17,105	12,323	△4,782	△28.0%	12,554	△26.7%
排出量合計	551,806	483,630	△68,176	△12.4%	513,948	△6.9%

※ 合計の数値は、四捨五入のため各施設の和と一致しない場合があります。

電気使用に係る排出量増減率

